



s o h p i a ~3月号~



1000万かけても
~Part 2~

~先月からの続き~

3年生になってからはより一層勉強に励んだ。部活がなくなってからは、4時に家に帰ると(母校は45分7校時だったので、15時30分学校終了)夜中の12時まで勉強した。お風呂の中でもトイレの中でも英単語や古文単語を唱えていた。そこまでしても、両親は何も言わなかった。進路について話がでたのは、センター試験の申し込みでお金が必要になった時である。両親も兄たちもセンター試験のような全国共通の試験を受けたことがない。そのため、試験に2万かかることにひどく驚いていた。その時に、これからいくらかかるのかという話をした。

「どこに行きたいんだ。」「F大です。国立だから、他よりは安いんだって」「そうはいつでもかかるだろう」「…」という具合である。経営者である父親はそろばんをはじきだした。年間で50万の学費に、入学金が100万、一人暮らしの諸経費に100万、月々の仕送りに10万…。四年間でどうだ。1000万だぞ。それでも行くか? こんな流れの話だったように思われる。

1000万なんて、お小遣いが1500円の私には想像もできない大金だった。それでも、自分の意志に賭けた。この道が正しいと。

ただし、こう書けばはなはだ素晴らしい高校生のようであるが、実はそんなものでもなかったと、今なら思う。ただただ周りと同じく進学したかっただけだと思う。ただただ周りの人と違う道を選ぶのが恥ずかしかったただけだったのではないかとも思う。

そんな私を見抜いていたのかもしれない。両親はセンター試験の当日まで、私が大学を目指すことを渋っていた。センター試験当日は大雪で、父親に送迎を頼んだのだが、その時になっても「本当に受けるのか」と言ってくる有り様である。受験を終え家に帰っても、「失敗してたら就職すればいい。なんだったら車だって買ってやる」と言っていた。それでもめげずに大学進学を主張した。

今となっては、あの時、たとえ弱くても、ふらついていても、自分の意志に賭けたことは正しかったのだと思っている。あの時決断していなければ、この職に就くことはできなかつたらう。1000万かけてもやりたいか。父親に突き付けられた条件に、迷い悩んだ熱意ほど、私を突き動かしたことはない。

ちなみに後日談であるが、貧しい貧しいと思っていた我が家の家計であるが、入学手続きの際、200万を現金で用意した父親には驚いた。一瞬、悪徳業者に借金でもしたのかと思ったほどである。でも違ってはいた。この日のために、ずっと貯金してくれていたのだ。私が進学したいといったその時から、もしくはもっと前から。私の意志の固さをその都度はかりながら、お金を貯めてくれていたのである。それから4年間、毎月毎月仕送りをしてくれた。いつ仕送りが止まるかと怯えていたが、そんなことは一回もなかった。その時、父親の意地と心意気を感じた気がした。羨も厳しくなかつたし、怒られたこともない。趣味のために仕事は休むし、毎日お酒を飲んでいる。はたから見れば締まっていない父親である。しかし、親が私にしてくれた教育を、私が子供にできるかと考えると、きっとできないだろうと思う。そう思うと、尊敬に値する親だと、心から思うのである。

担任より。



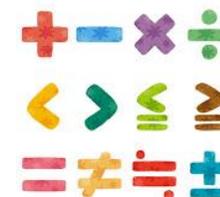
【3月行事予定】

3月	1日(火)	卒業式
	3日(木)	短縮45分授業
	4日(金)	身体測定・写真撮影(頭髪・学年章の準備を)
	7日(月)	3校時授業(Ⅱ期入試会場設営のため)※13:00以降校舎内立ち入り禁止
	8日(火)	Ⅱ期入試【生徒休業日】※校舎内外の立ち入り禁止
	9日(水)	Ⅱ期入試【生徒休業日】
	10日(木)	6校時授業
	11日(金)	学習指導懇談会
	14日(月)	入試合格発表日【生徒休業日】※午前中の校舎内外立ち入り禁止
	18日(金)	三学期終業式
	29日(火)	離任式・教室移動 ※登校日

【勉強のススメ~問題の解法を覚えよう~】

数学を苦手とする生徒にとって、数学の点数を上げるにはどうすればよいか。切実な問題である。まずは、問題の解法を覚えることである。教科書数学Ⅱより

数式の文字化けのため省略



解法を覚えることは数学学習の基礎の部分である。入試問題を解く際、Aの解法で解きながら、途中でBの解法でそして少し進みCの解法で解いていく。つまり、いろいろな解法を組み合わせながら解いていく。

以上が数学学習のやり方である。次は精神面である。

自分で出来そうもない問題を解くのは、容易ではないはずである。問題をいろいろな角度から考え、答えを導いていく作業は

- ① 問題を解いてやろうという前向きな気持ち
- ② 問題を考え抜く我慢強さ(忍耐力)が必要である。

苦手な数学を克服し、自分の行きたい進学先に行けることを願います。目指すところを受ける気持ちが揺らいだら、2月に書いた志望理由書を振り返ってください。そうすればそこに入学したいという強い意識が生まれると思います。皆さんの頑張りに期待します。佐藤より。